

**資料 65-1-1**

科学技術・学術審議会  
研究計画・評価分科会  
宇宙開発利用部会  
ISS・国際宇宙探査小委員会  
(第 65 回)

今後の国際宇宙ステーション・国際宇宙探査小委員会の検討項目案

令和 6 年 1 0 月 2 8 日

2030年以降の現在の国際宇宙ステーション（ISS）の運用終了と、それに伴う米国による民間宇宙ステーションの運用開始（以下単に「ポストISS」という。）を見据え、我が国としての地球低軌道活動の確保に向けて、以下の観点から議論。

1. 小委員会の調査検討事項

- 現行ISS及びポストISSにおいて我が国が地球低軌道活動を行う意義や利益（社会・経済・科学的価値、国際プレゼンス等）は何か。我が国として地球低軌道活動にどう取り組むべきか。
- これまでのISSにおける我が国の宇宙利用（科学研究利用、商業利用及びこれらに必要な宇宙環境利用技術の開発）の成果と課題は何か。
- 課題等を踏まえ、今後のISS及びポストISSにおける宇宙利用の充実・拡大のため、地球低軌道の特徴や利点を生かして具体的にどのような宇宙利用活動を行うべきか。（例：ライフサイエンス、材料科学、情報科学等）
- 我が国の地球低軌道活動にどういう主体（プレイヤー）を巻き込むべきか、また、その役割分担をどのように考えるか。

検討においては、宇宙航空研究開発機構（JAXA）やISS及びポストISSに向けた活動を行う民間事業者等からのヒアリングを含め、上記等の論点について議論を行い、ISS及びポストISSにおける宇宙利用の拡充等、我が国の地球低軌道活動の確保に向けた今後の進め方について、一定の方向性を得る。

## 2. 今後の予定（案）

- ・ 10月28日：  
検討項目の提示  
JAXA及びISS利用推進を行う民間事業者ヒアリング
- ・ 11月又は12月：  
ポストISSに向けた取組を行う民間事業者等ヒアリング  
今後の取組に向けた方針案の骨子等
- ・ 1月又は2月：  
今後の取組に向けた方針案の審議、取りまとめ

（宇宙開発利用部会へ報告）

※上記のほか、必要に応じ、オンライン等を活用した非公式の会議等を行う。